

防災への意識改革 ④

地震に

備えるために

「地震が来たらもう仕方ない...」と考えていませんか。確かに地震は避けることができません。しかし、事前の備えをしつかり準備しておけば、あなたとあなたの家族の命が助かる可能性は確実に高まります。

「家庭の防災対策」といつても何から始めたらいいかわからないと困惑し、手付かず状態の家庭が多いのではないのでしょうか。防災の備えに完璧はありませんが、できることから行いましょう。

最低限これだけはやっておきたい事前の備え

家具の転倒防止

休日や夜間を含めると、生活する時間が最も長いのが自宅となります。家族の生活の場である家と家具が、凶器にならないようにしましょう。

テレビ

阪神大震災で三メートルも飛んだ例もあります。止め金具用の穴を利用して固定します。花瓶などが倒れると、発火、爆発する可能性もあるので、上には置かない。

ピアノ

多くの被害は転倒でなく、「移動」であったので、移動防止を考える。

冷蔵庫

背面にある運搬用の取っ手を利用

して転倒防止ベルトを使って固定する。

照明器具

寝室だけでもつり下げタイプから直接取り付けるタイプに変える。

食器棚・本棚・たんす

L字金具で固定。重い物は下段に隙間なく収納。ガラスに飛散防止フィルムを張る。警戒宣言発令時や余震が続くときには、下段の引き出しを少し開けておくと倒れにくい。

家屋の耐震診断・耐震改修

県が実施した東南海地震の被害予測では、阿久比町のほぼ全域で震度6弱が予想されます。

耐震性の低い家では財産を失うだけでなく、家族の命までも失うことになり得ます。あなたの住まいが地震に対してどの程度の強さがあるか耐震診断を受けましょう。

県と町では、昭和五十六年五月以前に着工された旧基準木造住宅の無料耐震診断を行い、耐震改修費補助をしています。

問い合わせ先 建設課計画係

☎(48)11111(内288)

避難場所や安否確認の家族間での約束

電話が集中すれば、離れ離れとなった家族間の連絡は取りづらくなります。家族間で集会所を決めておきましょう。

NTTの「災害用伝言ダイヤル171」の利用方法を習得しておくことが大切です。毎月一日に体験利用

ができます。

非常持出袋、備蓄品の用意

三つのケースに分けてそろえることを勧めます。

枕元の袋

・懐中電灯・赤色灯付きホイッスル(下敷きになって動けないとき使用)

・厚底スリッパ(ガラスなどが散乱した屋内を移動するため使用)

持ち出しやすい場所にリュックで用意

高カロリー食、飲料水、雨具、携

帯ラジオ、懐中電灯、軍手、万能ナ

イフ、マグカップ、ばんそうこう、

タオル、せっけん、ラップ、ポリ袋筆

記具、ノートなど

車のトランクや屋外の物置などに衣

装ケースなどに入れて用意

食料、飲料水、新聞紙、ティッシュ

ペーパー、カセットコンロ、食器類、

テント、寝袋など

NTT 災害用伝言ダイヤル

171のかけ方

安否の確認などの連絡に家族間や知人などの連絡に活用できます。

利用にあたっての事前契約などは一切不要です。

大規模な災害が発生した時にはNTTの災害用伝言ダイヤルサービスが稼働します。家族や友人など被災した場合の安否の確認や連絡などに活用できます。

災害用伝言ダイヤルサービスの開始はテレビ・ラジオなどで通知されます。

伝言の録音方法

市外局番からダイヤルしてください。

171 → 1 → (0000)00 - 0000 → 伝言を入れる (30秒以内)

ガイダンスが流れます 被災地の方はご自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の電話番号を

伝言の再生方法

市外局番からダイヤルしてください。

171 → 2 → (0000)00 - 0000 → 伝言を聞く

ガイダンスが流れます 被災地の方はご自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の電話番号を